

## 2018 年度 センター試験 生物基礎（本試験） ワンポイント解説

第1問	A	
	問1	真核細胞も、原核細胞も、細胞分裂によって増殖する。
	問2	細胞質基質にもっとも多く含まれている有機物はタンパク質である。
	問3	光合成は光エネルギーを吸収して有機物を合成する炭酸同化である。 シアノバクテリアは大腸菌などと同じく原核生物である。
	B	
	問4	染色体は DNA とタンパク質で構成されている。
第2問	問5	選択肢②はエイブリーの実験。選択肢⑥はハーシーとチェイスの実験。
	問6	ヌクレオチドは糖・塩基・リン酸で構成されており、RNA では糖はリボースである。
	A	
	問1	リンパ管は鎖骨下静脈で血管とつながっている。
	問2	糸球体からボーマンのうへろ過された物質の一部は細尿管から周囲の毛細血管に再吸収される。
	問3	グルコースの再吸収は細尿管で行われる。
第3問	B	
	問4	胃や腸の活動は交感神経によって抑制され、副交感神経によって促進される。
	問5	アドレナリンはグリコーゲンの分解を促進するホルモンである。
	A	
	問1	年平均気温が約 10℃以上で年降水量が約 500mm の地域には、ステップのような草原のバイオームが成立する。
	問2	自然植生の図において、黒く塗られている部分が比較的多いのは北海道の針葉樹林帯である。また、ブナは夏緑樹林の代表樹種であることから正解を選べる。
第3問	B	
	問3	遷移が進み、種の構成が大きく変化しなくなった状態を極相という。
	問4	見慣れない図で戸惑ったかも知れないが、選択肢の内容を見ると、「作用」と「環境形成作用」に関する知識問題であると言える。
問5	二次遷移は土壌が存在するので、一次遷移と比べて速く進行する。	